

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 26 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	スクールバス運営費			
担当課係名	教育総務 課	総務 係	作成者	朝水 勝巳
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ
	基本計画	学校教育の充実と教育環境の整備		
	主要施策	基礎学力向上と心の教育の充実		94
予算費目	一般 会計	10 款 教育費	1 項 教育総務費	4 目 スクールバス管理費
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	仙北市スクールバス運行規程、仙北市角館小学校スクールバス運行管理規程			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	西明寺小学校、桧木内小学校、桧木内中学校、角館小学校の児童・生徒を対象。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	児童・生徒の通学困難を解消する。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	対象となる小中学校の登下校時における児童生徒の送迎。角館小は、民間委託し、登校時1回、下校時2回運行。西明寺小、桧木内小、桧木内中は直営で、登下校のほか、登下校に差し支えない範囲で学校の教育振興に必要な児童生徒の輸送。

【事務事業の推移】

		項 目	単位	25年度実績	26年度実績	
効果	活動指標	スクールバス運行延日数	目標	日	840	840
			実績	日	914	924
			達成度		108.8%	110.0%
	成果指標	スクールバス運行延回数	目標	回	1,890	1,890
			実績	回	2,449	2,339
			達成度		129.6%	123.8%
投下コスト	項 目		総事業費	25年度決算額(千円)	26年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)			4,216	4,693	
	人 件 費 (B)		—	1,638	1,708	
	職 員 数		—	0.20	0.20	
	職員平均人件費		—	8,192	8,540	
	(A)+(B) 投下コスト		—	5,854	6,401	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
一般財源			5,854	6,401		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	6,405	6,927	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	203	226	

【事務事業の今までの成果】

文部科学省へき地教育振興対策及び小学校統合における旧西長野小学校区域児童生徒の通学バスとして設置、運行されてきましたが、十分に成果を上げています。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状のまま継続してほしい。 ・夏休み等におけるスポーツ少年団の練習の送迎にも運行してほしい。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	児童生徒の通学の安全確保と保護者の経済的負担軽減のためにも、現状のまま継続すべき事業である。 スポーツ少年団活動へのスクールバス運行には問題があり、別途、検討が必要と考えられる。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	児童生徒の通学距離等や保護者の経済的な負担を考えると必要である。

